

ストーマ造設数・閉鎖数入力時の注意点

（１）「直腸癌」については自然肛門温存手術（高位前方切除術、低位前方切除術、括約筋間直腸切除術）とハルトマン手術と腹会陰式直腸切断術に分けて入力してください。ハルトマン手術については、後にストーマ閉鎖を予定する場合は一時的の欄に、閉鎖を予定しない場合は永久の欄に入力して下さい。

（２）「その他悪性」については、直腸癌以外の悪性疾患でストーマ造設を行った件数を入力してください。例えば卵巣癌や前立腺癌など他臓器の癌の浸潤に対してストーマ造設を行った場合も含めて入力してください。また、非切除でストーマのみ造設した直腸癌症例についてもこの欄に含めて入力して下さい。

（３）直腸癌、その他悪性、潰瘍性大腸炎、クローン病、大腸憩室症それぞれの疾患による消化管穿孔でのストーマ造設数については、それぞれの疾患のストーマ造設数に含めて入力し、「上記疾患以外の消化管穿孔」には、前記の各疾患以外の原因による消化管穿孔でのストーマ造設数のみを入力して下さい。

（４）ストーマ閉鎖数は、単純にその年にストーマ閉鎖術を行った件数を入力して下さい。またストーマ閉鎖術の術式（開腹手術か腹腔鏡手術かロボット支援手術か）については、ストーマ造設時の術式にかかわらず、ストーマ閉鎖術を行った術式のところに入力して下さい。

（例. 2023 年 11 月にロボット支援手術で低位前方切除術+双孔式回腸ストーマ造設術を行い、2024 年 4 月に開腹でストーマ閉鎖術を行った場合は、2024 年 1 月～12 月の「直腸癌—開腹手術—自然肛門温存術—双孔式」の欄に入力して下さい。）